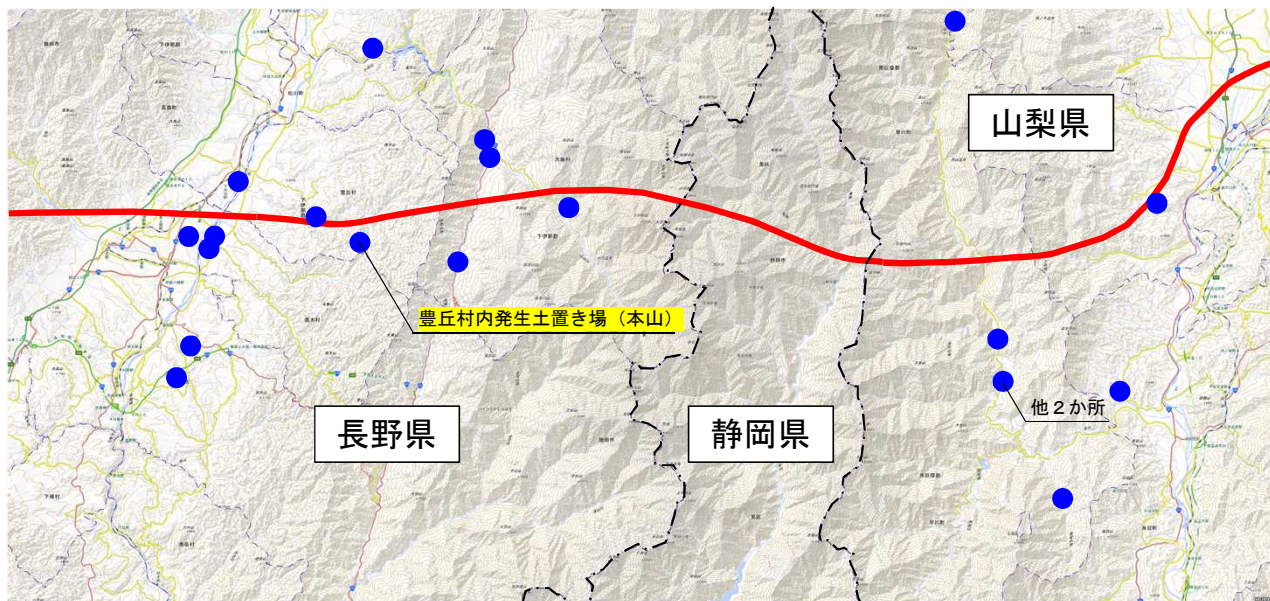


○計画路線と主な発生土の活用先との位置関係



《凡例》
 — 計画路線
 ● 主な発生土の活用先

出典：J R 東海からの情報提供を基に地理院地図を用いて作成

【長野県】

○ J R 東海が計画・設置する発生土置き場

発生土置き場	容量
大鹿村内発生土置き場 (旧荒川荘)	約 3 万 m ³
大鹿村内発生土置き場 (青木川)	約 7 万 m ³
豊丘村内発生土置き場 (本山)	約 1 3 0 万 m³
豊丘村内発生土置き場 (戸中)	約 2 6 万 m ³
喬木村内発生土置き場 (堰下)	約 7 万 m ³
飯田市内発生土置き場 (下久堅)	約 2 0 万 m ³

※各発生土置き場における令和3年度末時点の土量については、参考資料3：参1-6参照

出典：各発生土置き場における環境保全について (J R 東海公表資料) を基に作成

○他事業への主な活用例

- ・総合グラウンド整備 (大鹿村)
- ・ろくべん館前の敷地造成 (大鹿村)
- ・工場団地造成事業 (喬木村)
- ・半の沢道路改築事業 (長野県)
- ・伊那インター工業団地拡張事業 (伊那市)
- ・産業用地整備事業 (高森町)
- ・代替地整備事業 (飯田市)
- ・産業用地整備事業 (飯田市)

出典：各年度の環境調査の結果等について【長野県】 (J R 東海公表資料) を基に作成

【山梨県】

○ J R 東海が計画・設置する発生土置き場

発生土置き場	容量
早川町内塩島地区発生土置き場	約 3 万 m ³

※令和3年度末時点の土量については、令和3年度における環境調査の結果等について【山梨県】 (J R 東海公表資料) 参4-1参照

出典：塩島地区発生土置き場における環境保全について (J R 東海公表資料) を基に作成

○ J R 東海事業への活用

建設発生土の搬出先	容量
高下保守基地・変電所造成地	約 1 8 0 万 m ³

※令和3年度末時点の土量については、令和3年度における環境調査の結果等について【山梨県】 (J R 東海公表資料) 参4-1参照

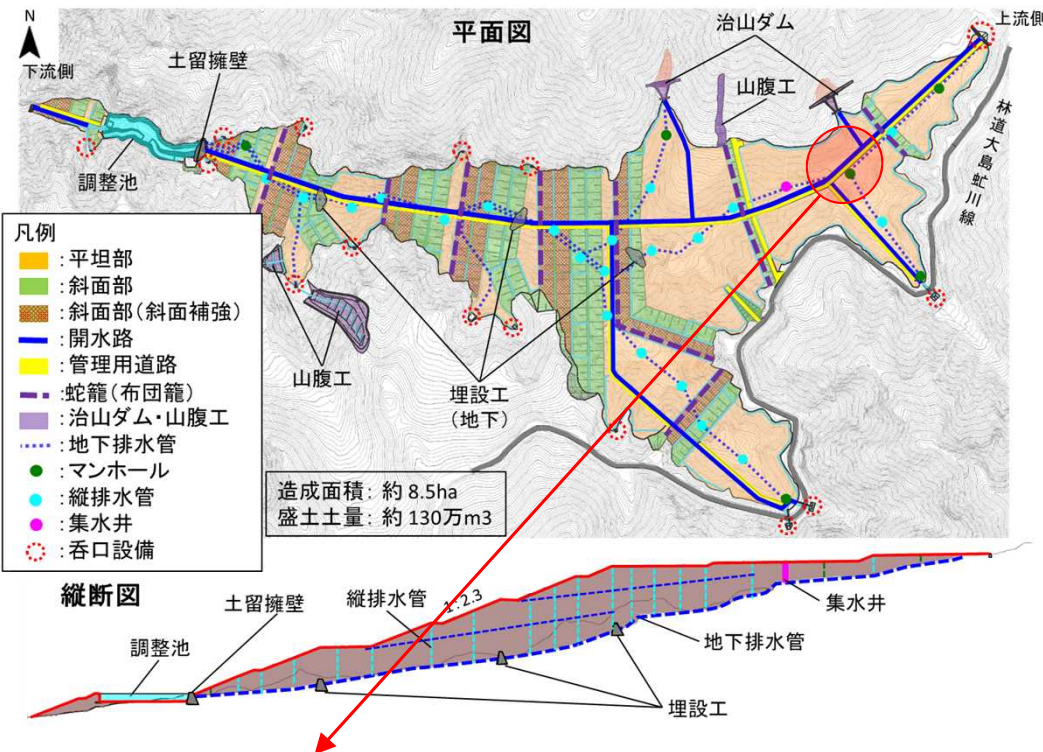
出典：中央新幹線第四南巨摩トンネル新設 (東工区) ほか工事の環境保全について (トンネル掘削等) (J R 東海公表資料) を基に作成

○他事業への主な活用例

- ・早川・芦安連絡道路事業 (山梨県)
- ・西之宮地区防災拠点整備事業 (山梨県)
- ・西之宮地区内農産物直売所他集客施設用地造成事業 (早川町)
- ・西之宮地区災害復旧用資器材置場整備事業 (早川町)
- ・赤沢地区町道改良事業 (早川町)
- ・遅沢地区土地造成事業 (山梨県建設業協同組合事業)

出典：各年度の環境調査の結果等について【山梨県】 (J R 東海公表資料) を基に作成

○概要 (排水設備等の計画)



※図面では省略しているが、最下層に基盤排水層及び枝管を配置し、地下排水管へ集水している。

○環境保全措置の計画 (参考資料2 : p3-1~3-43)

- ・ 影響を低減させるための措置
 - (水質) 工事排水の適切な処理
 - (水質) 工事排水の監視
 - (水質) 排水設備の点検・整備による性能維持
 - (土地の安定性) 適切な構造及び工法の採用
 - (土地の安定性) 法面の保護
 - (土地の安定性) 適切な施工管理
 - (生態系) 小動物等の移動経路の確保
 - (動物・生態系) 低騒音・低振動型の建設機械の採用
 - (植物・生態系) 外来種の拡大抑制
 - (動物) 照明の工夫
 - (植物・生態系) 林縁保護植栽等による重要な種等の生育環境の確保
 - (動物・生態系) コンディショニングの実施
 - (動物・植物・生態系) 工事従事者への講習・指導
- ・ 代償するための措置
 - 代替巢の設置、重要な種の移植・播種

→実施状況は、参考資料3 : p4-1-49~4-1-55として公表

○事後調査及びモニタリング (参考資料2 : p4-1~4-3)

- (動物) ハイタカの生息状況
- (植物) 移植・播種した植物の生育状況
- (水質) 浮遊物質、水素イオン濃度、水温、流量
- (水質) 自然由来の重金属等

→結果は、参考資料3 : p2-4-1~2-4-20、p3-7-1~3-7-51として公表

○発生土置き場の管理計画 (参考資料2 : p5-1~5-5)

1. 工事中の管理計画
 - ・ 発生土搬入計画
 - 自然由来の重金属等及び酸性化可能性の調査を行い基準に適合することが確認された土のみを搬入
 - ・ 計画上の配慮事項
 - 【排水計画】 流入水処理、地下水処理、調整池・沈砂池、排水設備、その他
 - 【法面管理計画】 法面勾配、小段、法面保護
 - ・ 造成中の配慮事項
 - 試験盛土、事前処理工、伐採、断切工、敷均し締固め、施工中の排水排水設備、濁水濾過設備、排水の監視
2. 工事完了後の管理計画
 - ・ 点検、保守、観測
 - ・ 地下水位上昇の場合の水抜きボーリング対策

→実施状況は、参考資料3 : p参1-8~参1-9として公表